

訓練も合意もなく新たな分割作業など無茶苦茶だ!

安全破壊のダイ改強行反対!

3月14日のダイ改正を目前にした3月2〜6日に行われたTTS（高崎鉄道サービス）籠原事業所での説明会でとんでもないことが明らかになりました。なんと籠原での分割作業を大幅に変更することが勝手に通告され、変更内容について疑問が噴出する中で、TTSは「ここは団交じゃない！」と逆ギレし、訓練もしないで3月14日のダイ改から実施を強行すると宣言したのです！

その中身たるや安全業務の削減やTTSに全面外注化したはずの分割作業に本線運転士を組み込むなどという外注化の前提を覆す偽装請負の疑いのある作業変更なのです。こんな安全も労働組合も無視したやり方は籠原でも前代未聞であり、必ずミスや事故につながることは明らかです。私たちは断固抗議し、このような安全破壊のダイ改強行を中止することを要求します。

●これは単なる変更ではない

TTSが「説明」してきた内容は次のようなものです。

①籠原における分割併合作業が増えるため、JRの本線運転士による分割・入区もできるようにする。そのため分割作業の取り扱いを変更する。

②これまで車両技術係（TTSでは技術指導係）と構内運転士（TTSでは運転指導係）が同時に両方の運転台について行っていた切り離し作業をTTSの技術指導係だけでやるようにする。

③これまでTTSの運転指導係がやっていた分割のための作業をJRの本線運転士でもできる内容に変更する。

④これまで異種の車両は連結できなかったが、ソフトを書き換えただけでダイ改から231系と233系の区別なく連結する（こみ運用）。当日にならないと扱う車両が何系なのかは分からなくなる。

⑤実施日が迫っているので訓練などは行わず3月14日から実施してもらう。

●現場は大混乱する

これほどまでの大規模な作業の変更が、実施から2週間を切った段階で、単なる「説明会」だけでできるわけがありません。何年も何十年もやってきた仕事を、なんの訓練もし



安全第一はどこに行ったの？

ないでいきなり変更して混乱しない方がおかしいのです。しかも、「この体制で朝の出区点検ができるのか？」という質問にTTSは答えられなかったのです。列車番号の付け方も大きく変わるわけで、ダイ改も混乱すれば誰がどの車両をどのよう

に扱ったらいいのか、JRもTTSも入り乱れ、外注化のために現場での直接連絡は違法状態で、はちゃめちゃな状態になることは間違いありません。こんなやり方で鉄道の安全も労働者の安全も守れるわけがありません。ダイ改はずっと前から分かってきたのに、いまのままで現場に秘密にし、このようなやり方で押しつけようとするやり方はもはや犯罪そのものです。

籠原だけでもこんなことが行われていることは、今回のダイ改がいかにデータラメであるかを象徴しています。

結局鉄道業務は一体であり、一部分を切り離して外注化するということは不可能なのです。JRは労働者の人件費を引き下げるためだけにJRの子会社であるTTSへの外注化を偽装して、実態は人数が足りなければJRとTTSが渾然一体となつて作業をやることも平気で強行しようとしているのです。こんなやり方を認めることなど到底できません。

●これは外注化の自己否定であり破綻そのものだ

そもそも籠原での分割併合作業はTTSに全面外注化されたはずですが、ところが上野東京ラインによつ

て仕事量が増えたからと言って、都合主義でJRの本線運転士をこの作業に組み込もうと言うことは、原則として許されません。TTSの労働者とJRの本線運転士が分割作業を一緒にやることは明らかに偽装請負であり違法です。JRとTTSは違法であることを百も承知で作業手順を変更することによって強行しようとしているのです。

●外注化を撤廃せよ!

こういう事態が発生すると言うことは、構内業務と本線業務とは一体であり、外注化することはできないと言っていることです。JRはTTSへの業務委託を取りやめ、すべての労働

外注化阻止連続学習会第10回

「3・14ダイ改合理化の問題点を検証する」

●3月27日（金）18時30分〜
熊谷商工会館2階1号室



者をJRの正社員とすべきなの
です。

●東労組では もう生きられない

今回のダイ改で明らかなのは、もはやJRは最大の御用組合だった東労組すらも解体の対象にし始めていると言うことです。上野東京ラインに乗じて十条運転区や高崎車両センターなど東労組革マルの拠点から次々と仕事を奪いはじめているのはそのためなのです。

これに対して東労組はまったく太刀打ちすることができず、今回のようなデタラメなダイ改の内容についても本部レベルでは知っていないながら、黙認しているとしか言えません。国鉄分割

・民営化の手先となって、JRと労資一体で外注化や合理化の先兵となってきた東労組に会社と闘うことなどできるわけがありません。

今一番必要なのは、現場の労働者の怒りと団結に依拠して、おかしいものにはおかしいとはっきり主張して闘う労働組合＝動労連帯高崎・動労総連合です。

●清掃現場にはとんでもない労働強化＝実質賃金低下が！

3・14ダイ改にともなう清掃関連職場でも、とんでもない労働強化＝実質賃金低下が狙われています。

籠原では、折り返し車両が大

幅に増加、それにとまな

て清掃作業の大幅増加が通告されています。しかし、

要員は増加されないので、

とんでもない労働強化＝実質賃金の低下、高齢者や女性にとつては首切り攻撃ともいべき大攻撃となっています。

「混み運用」が出てくる

ことで、水回りの作業も、これまで大きく変わって、回数が増加するのみならず、作業場所がどの車両になるかあらかじめ予想できないことによる労働強化が予想されます。

他方で、高崎、新前橋での車両清掃は減少すると予想され、新たな首切り攻撃が懸念されます。

説明資料によれば、TTS籠原事業所では、日勤の出勤時間が早められるケースが出ます。一日のトータルな労働時間が全体として変更がないとしても勤務時間の変更、しかも早朝での前倒し変更は労働条件の不利益変更です。朝、家族に食事をさせ子どもたちを送りだしてから出勤することができなくなることもありうる変更です。

ところがこのような労働条件の変更が、本人合意もなしに一方的に命令されようとしています。また、労働組合との団体交渉で合意されない限り命令できません。その場合、労働契約法違反に該当するおそれがあります。

こんなに仕事が増えたんじゃない！ もうやってられない！



言いかえれば、労働組合（この場合TTS労働組合）が、現場労働者、組合員の意見や利益も考慮せず勝手に妥結しているか、そもそも労働組合として果たすべき役割をなにも果たしていないから無視されているか、そのいずれかです。

こんな一方的な通告がまかり通るのは労働組合がその使命を果たしていないからです。

それ以外にも大きな問題点山積のダイ改ですが、説明している管理職さえ「どうなっているのか判らない」「このままいけば大トラブルになる」と口をせざるを得ないのが今回のダイ改の実態です。

現場を動かし、乗客の安全を守り、適切なサービスを提供するのは現場労働者です。そのためには、労働者が現場から「おかしいことは、おかしい」と声をあげることが必要です。トラブルになり、事故になってからでは遅いのです。ダイ改合理化絶対反対、ダイ改による安全破壊、労働強化＝低賃金化反対の声をあげましょう！

祝！動労総連合に新たな仲間が結集！ 国鉄神奈川動力車労働組合が誕生したぞ！

3・14 動労千葉・動労水戸ストライキと連帯してダイ改阻止！ 外注化粉碎！大幅賃上げを闘いとうろう！

2月22日、神奈川からうれしい知らせが届きました。

小田原の青年が決起！

籠原でのTTSと同じような神奈川でJRの外注会社とされている東日本環境アクセス小田原事業所で働く青年労働者が中心になって、ついに国鉄神奈川動力車労働組合（動労神奈川）が結成され、ただちにダイ改と全員の正規職化を求めて環境アクセス小田原事業所に団交要求をたたきつけたのです。

環境アクセスの解雇策動

彼らは小田原での車両清掃を担当していて、今回のダイ改で籠原と同じようにさまざまな労働強化を強いられる同じ位置にいる労働者です。この間環境アクセスのあまりにひどい労働条件に怒りの声を上げると、環境アクセスは卑劣にも雇用期間を短縮する不利益扱いの報復を行いました。この3月での雇止めが狙われていました。

この現実をたいして、青年たちは動労千葉・動労水戸とともに闘う国鉄神奈川動力車労働組合を結成してこれと闘う道を選択したのです。

国労の仲間が委員長に

ここで重要なことは、茅ヶ崎でエールダーとして警備の仕事に就いていた国労東京地本八王子支部豊田運輸区分会の中村幸夫さんが、彼らの決起に感動し、まったく闘わない国労と決別・脱退をして、動労神奈川の委員長となって動労神奈川が誕生したことです。非正規職の青年労働者

とエールダーが団結して、JRと本
当に闘う労働組合が神奈川にも誕生したことは決定的です。

雇止め策動を粉碎！

そしてこの組合結成と団交要求にJRと環境アクセスは大打撃を受け、青年の契約更新をせざるを得なくなったと言うことです。大勝利です！

闘いはこれからですが、黙っていたら雇止めで闇に葬られていたことは明らかです。少数でも闘えば勝つことはできるのです。彼らが開始した決起が勝てるかどうかは後に続く決起にこそかかっています。あらゆる職場から動労連帯高崎や動労総連合への決起が開始されることこそが、暗黒支配を目標むJRに労働者が勝利する道です。

動労千葉と動労水戸は3月14日、ダイ改粉碎のストライキに決起します。動労千葉、動労水戸と連帯し、動労連帯高崎への圧倒的な結集を呼びかけます。

ダイ改粉碎！解雇・処分粉碎！ 動労西日本が2・27 第一波スト！

